



Kobelink

コベルコIoTクラウドサービス

充実したネットワークで、お客様のビジネスをサポート。

コベルコは、国内はもちろんアジア地域を中心とした海外でも充実した拠点網を配備。世界各地のお客様のさまざまなニーズにきめ細かに対応しています。

国内拠点

北海道

北海道営業所

〒003-0869 北海道札幌市白石区川下641-83
TEL:011-873-8511 FAX:011-873-8522

東北

東北支店

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-2-25 仙台NSビル5F
TEL:022-715-2670 FAX:022-261-0762

関東

関東支店

〒330-6017 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2 明治安田生命さいたま新都心ビル17F
TEL:048-799-3131 FAX:048-711-5080

新潟営業所

〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通2-1-20 ステーションプラザ新潟ビル802号室
TEL:025-246-8880 FAX:025-246-8882

栃木営業所

〒321-0911 栃木県宇都宮市問屋町3426-41
TEL:028-656-0200 FAX:028-656-0222

山梨営業所

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-12-15 甲和ビル5F
TEL:055-220-6633 FAX:03-5496-0018

北陸

北陸営業所

〒930-0858 富山県富山市牛島町18-7 アーバンプレイス8F
TEL:076-445-1770 FAX:076-441-0778

中部

中部支店

〒451-0045 愛知県名古屋市西区名駅2-27-8 名古屋プライムセントラルタワー15F
TEL:052-584-6088 FAX:052-584-6080

静岡営業所

〒421-0117 静岡県静岡市駿河区下川原南7-17
TEL:054-258-9111 FAX:054-258-9102

近畿

近畿支店

〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中3-8-2
TEL:06-6451-2626 FAX:06-6451-2620

中国

中国支店

〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里3-5-7 GRANODE 8F
TEL:082-258-5325 FAX:082-258-5327

四国

四国営業所

〒760-0080 香川県高松市木太町436-6
TEL:087-866-1233 FAX:087-866-1239

九州

九州支店

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1 新幹線博多ビル6F
TEL:092-409-4614 FAX:092-409-4615

いまコンプレッサは、IoTクラウド時代へ

コベルコ IoTクラウドサービス



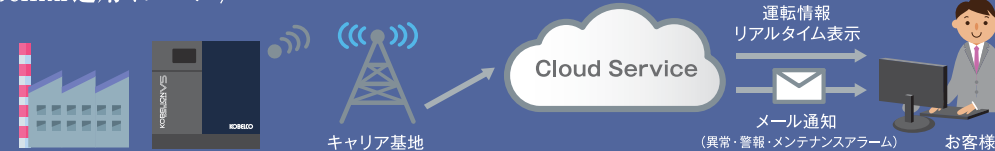
追求したのは使いやすさ。
コンプレッサのIoT化は、
一歩先のステージへ。



コンプレッサの稼働状況をいつでもすばやくチェック

〈Kobelink〉はクラウドによる遠隔監視で、コンプレッサの運転状態をリアルタイム表示。
トラブル発生時にはメールを自動送信し、稼働状況の確認、迅速な復旧をサポート。
コンプレッサの安定稼働を支え、製造現場の生産性向上に貢献します。

〈Kobelink 運用イメージ〉



運転状態のリアルタイム把握

トラブルの予防・早期対応

● 万全のセキュリティ管理 通信はVPN (Virtual Private Network) 方式を採用。データを暗号化することで、インターネット上でありながら専用回線と同等のセキュリティを確保。情報漏えいリスクを回避できます。

※お客様ご自身が監視するシステムで、当社が常時監視するものではありません。

IoTクラウドサービスがもたらす4大メリット

動画でも
ご覧になれます。



グラフィカルな画面表示

月報出力機能

モバイル対応

納入機グルーピング機能

運転状態の見える化

吐出空気量・消費電力量表示

コンプレッサの運転状態をリアルタイム監視。

運転状況を把握・分析し、省エネ性アップ。

日常点検の効率化

エネルギーの見える化

省エネルギー化



運転状況の見える化

運転履歴の保存



操業の安定化

アラームの通知

復旧時間の短縮化



最適なメンテナンス計画、予防保全を実現。

事前のトラブルシューティングで迅速に解決。

アラーム発生通知機能

メンテナンス履歴表示

機能の詳細は次のページからご覧ください。

Kobelink のご利用にあたって

Kobelinkを利用するには専用キット「**Kobelink キット**」が必要です。Kobelinkキットには、お使いのコンプレッサによって本体内部に搭載可能な〈**内蔵タイプ**〉と増設の必要がある〈**外付タイプ**〉があります。

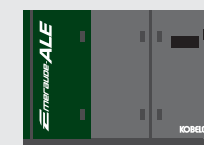
〈最新機種「**KOBELIONIV**」「**ALEIV**」の場合〉

内蔵タイプ

コンプレッサ内蔵型なので、
簡単な取付作業で
Kobelinkをご利用になります。



KOBELIONIV



ALEIV



IoTゲートウェイ



アンテナ

〈「**KOBELIONIV**」「**ALEIV**」以外の機種をご利用の場合〉

外付タイプ

別売の「**Kobelink BOX**」を
増設することで、
Kobelinkをご利用いただけます。

さまざまな
コンプレッサを
Kobelinkで
監視できる!



Kobelink BOX



サイズ (幅300mm×奥行120mm×高さ300mm)

※Kobelink BOXの据付、電源配線、コンプレッサとの配線工事については取扱説明書をお読みのうえお客様にて実施をお願いします。

Kobelinkを利用可能な機種、取付タイプについて、詳しくは**当社営業担当**または**最終ページの各営業所**までお問い合わせください。
Kobelinkの利用を希望されるお客様は専用キットをご注文の上、使用開始までに当社指定同意書への同意をお願いいたします。



日常点検の効率化

コンプレッサを遠隔監視することで、運転状態が容易に把握でき、日常的な点検作業の効率化が図れます。

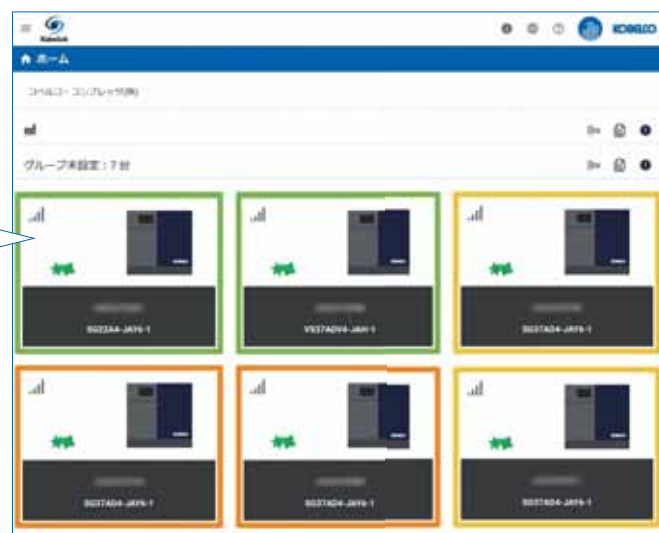


グラフィカルな画面表示

コンプレッサの稼働状態や異常の有無をアイコン表現、異常レベルに応じた色分けなどでわかりやすく表示。コンプレッサの状態が視覚的・直感的にすばやく理解できます。

稼働状態の詳細データを確認可能

型式	9023A4-JAY6-1		
お客様管理番号			
稼働時刻	2021/11/12 17:15:30		
運転	異常	警報	
故障	メンテナンス		
吐出圧力	0.57MPa	オイルセパレータ内圧力	0.62MPa
ライン圧力	-0.38MPa		
吐出温度	18.3℃	モータコイル温度	65.9℃
吐出温度	82.4℃	オイルセパレータ温度	78.5℃
電流	78A	インバータ消費電流	0.0A
負荷状態	100%	稼働状態	100%
運転時間	1,570hr	稼働回数	127



コンプレッサの状態がひと目でわかる！



モバイル対応

スマートフォン、タブレット端末からの閲覧に対応。外出先や急用時でも、すばやくコンプレッサの稼働状況が把握できます。

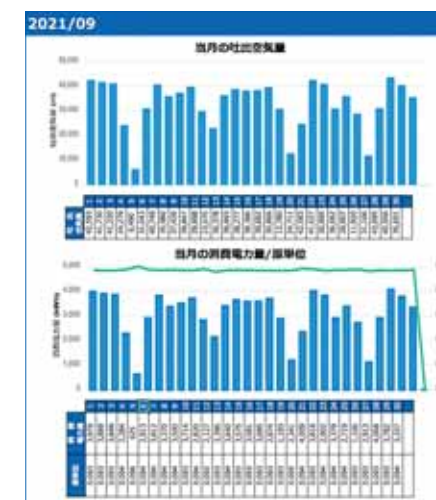


月報出力機能

コンプレッサの稼働状況を把握できるレポートを月報として出力できます。



- 稼働状況のトレンド管理に対応
(吐出空気量、消費電力量、各種圧力/温度、原単位、アラーム一覧など)
- お客様の任意指定での月報出力が可能
(1台単位、グループ単位、システム全体など)



以下の4つのフォームがExcel (1ファイル) で出力できます。

- 月 報
- 吐出空気量/消費電力量推移
- 運転データ
- メンテナンス履歴

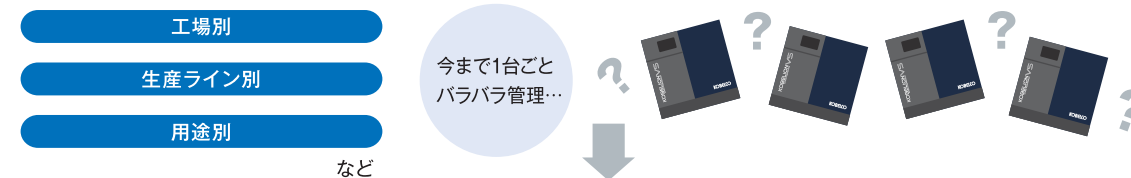
メンテナンス履歴

運転データ

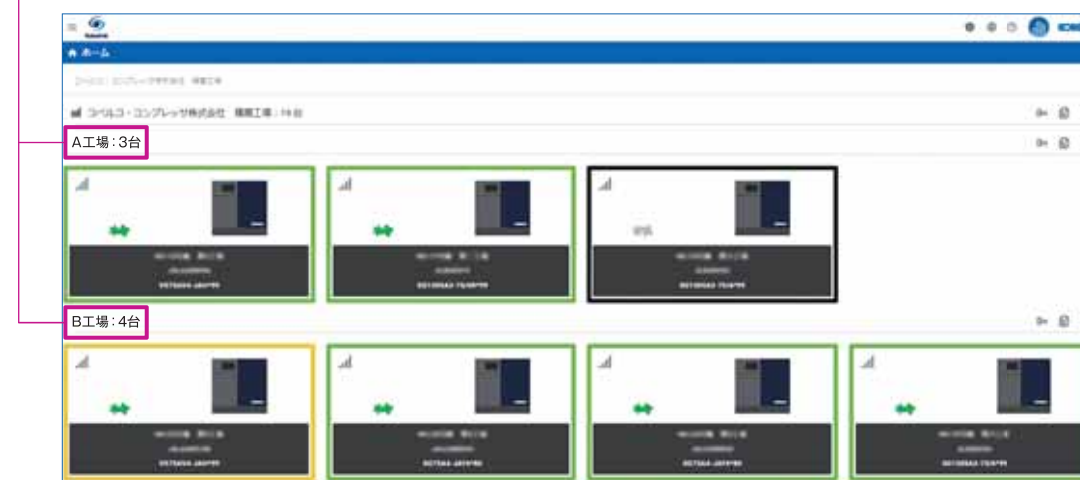
吐出空気量/消費電力量推移

納入機グルーピング機能

お客様の現場の実態に即した任意のグループ設定が可能 (最大99台/グループ)。複数台のコンプレッサが稼働している現場でも、お客様が管理しやすいグループ単位で管理、分析が容易に行えます。



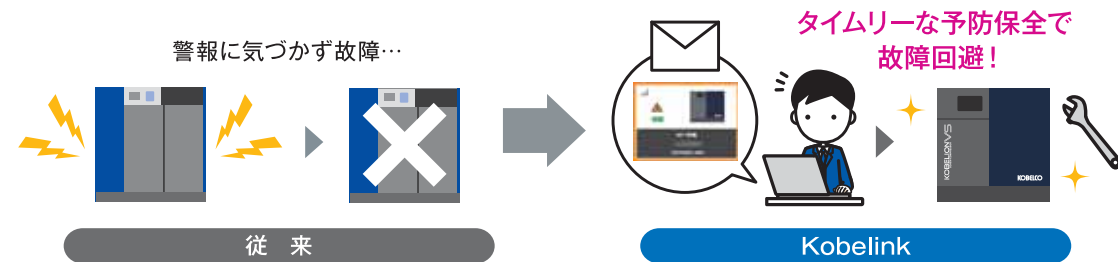
任意にグループ分けして一括管理！



※お客様IDのみ、グループ設定の権限があります。

操業の安定化

運転状態を監視し、異常時にはアラーム通知をメールでお知らせ。また過去の整備履歴にもとづく最適なメンテナンス計画・タイムリーな予防保全を実現し、生産ラインの安定操業に貢献します。



アラーム発生通知機能

コンプレッサの異常を検知するとアラーム通知を送信し、トラブルの早期発見を実現。
また、アラーム履歴を容易に参照でき、スムーズな復旧対応、メンテナンス計画の検討に役立ちます。



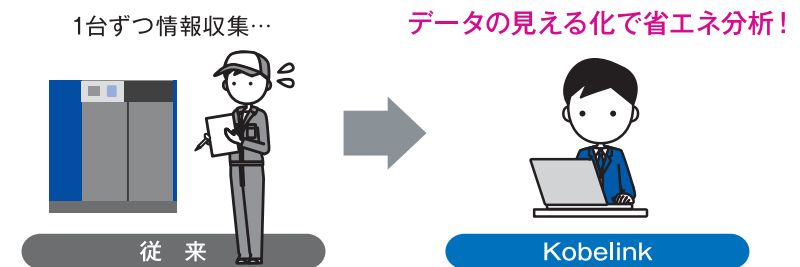
メンテナンス履歴表示

稼働中のコンプレッサ1台ごとのメンテナンス履歴を確認可能。
過去の運用実績を参考に最適なメンテナンス計画を立案でき、タイムリーな予防保全が行えます。



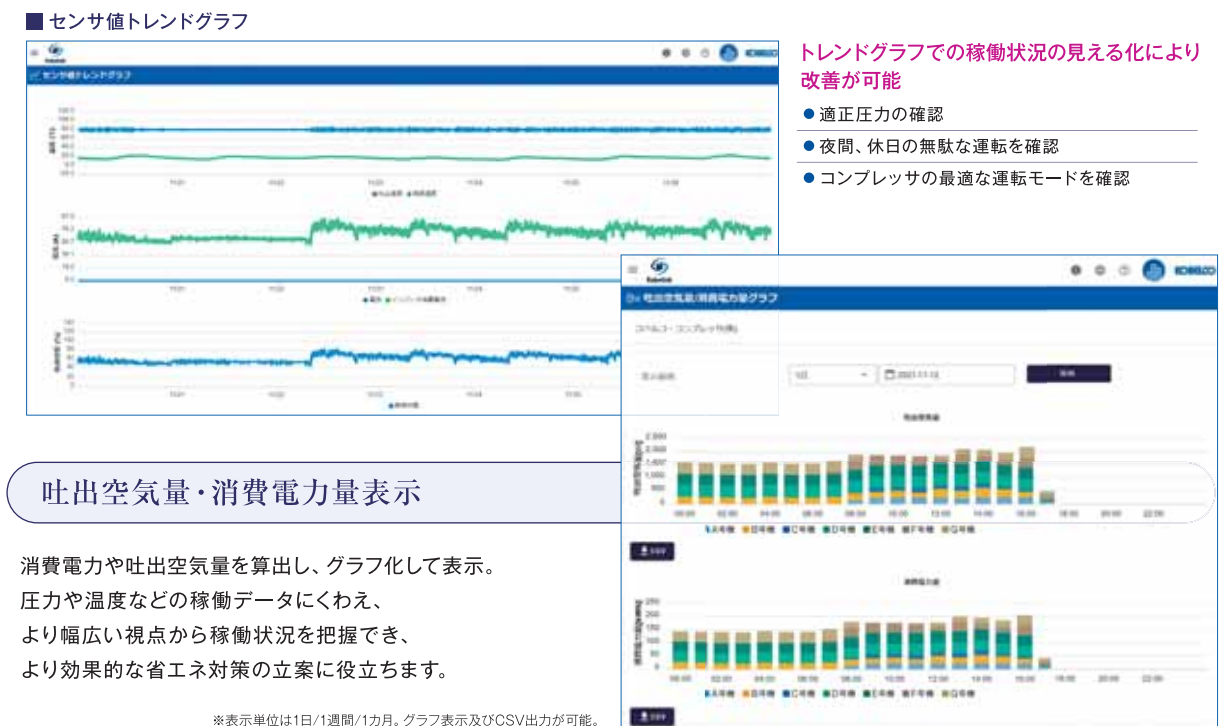
省エネルギー化

運転状況を把握・分析することで、最適な運転方法の検討、省エネ対策につながります。



運転状態の見える化

コンプレッサ1台ごとの運転状態（圧力、温度、電力、負荷等）をグラフで見える化。
運転データのCSV出力にも対応し、最適な運転計画の分析、改善策の検討に貢献します。



復旧時間の短縮化

万一のトラブルの際は、トラブル発生時の運転状態を検証。事前のトラブルシューティングにより、復旧時間の短縮につながります。

